

文章題のめあてとまとめ 解決の道筋

—— 5年「人文字」(啓林館) について ——

(注：ページ番号は、平成 27 年啓林館のもので、問題文は著作権の関係で掲載できません。お手数ですが、教科書を参照してください。)

p.134 ① $a \times (\square - 1) = b$ の問題 (ならびの数を求める)

3 年下 p.95 ③ $a \times (b - 1) =$ の問題 (全部の長さを求める) と、

本時の $a \times (\square - 1) = b$ の問題 とを比べることで、次のような

一般化されためあてをつかむ。

めあて
 間の長さ、全部の長さが分かっているときの、ならびの人(個)数の求め方を考えよう。

3 年下 p.95 ③の問題で

図 1

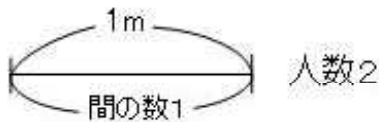
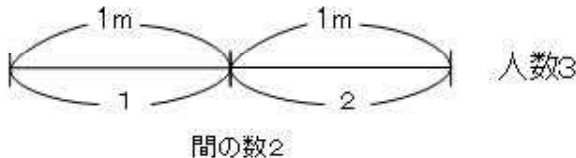
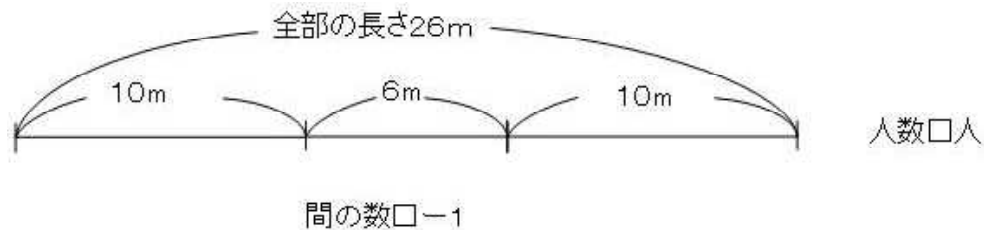


図 2



から、間の数は(ならびの人数 - 1)であったことを想起して、図3のようにかき直す。

図 3



式 (間の長さ) × (間の数) = 全部の長さ だから
 $1 \times (\square - 1) = 26$
 $(\square - 1)$ は $26 \div 1 = 26$
 $\square = 26 + 1 = 27$

答え 27人

まとめ
 間の長さ、全部の長さが分かっているときの、ならびの人(個)数を求めるには、全部の長さを間の長さでわり、それに1をたす。

p.135 ②① **$a \times \square = b$ の問題** (つながっているときの, ならびの数を求める)

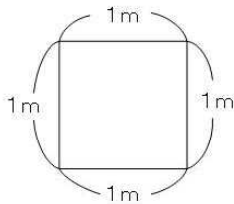
p.134 ①の **$a \times (\square - 1) = b$ の問題** (つながっていないときの, ならびの数を求める) と,

本時の **$a \times \square = b$ の問題** とを**比べる**ことで, 次のような

一般化された **めあて**をつかむ。

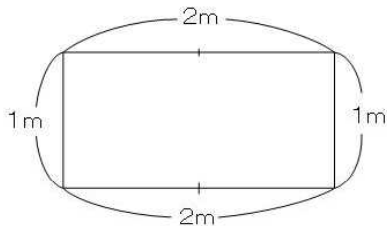
めあて
 間の長さ, 全部の長さが分かっているとき, つながっているときの, ならびの人(個)数の求め方を考えよう。

図 1



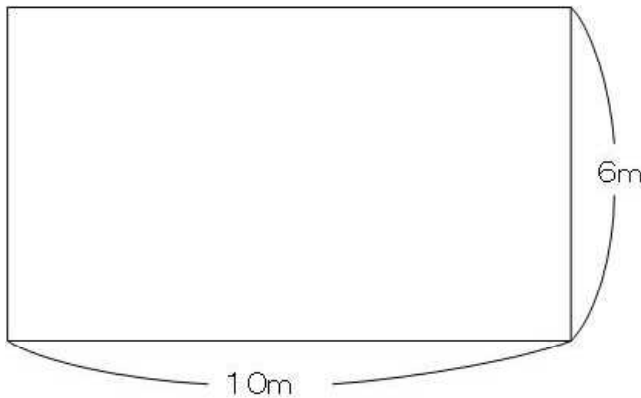
(間の長さ) × (間の数) = 全部の長さ で
 (間の数) は (ならびの数) と同じなので,
 (間の長さ) × (ならびの数) = 全部の長さ
 $1 \times 4 = 4$

図 2



(間の長さ) × (ならびの数) = (全部の長さ)
 $1 \times 6 = 6$ だから

図 3



(間の長さ) × (ならびの数) = (全部の長さ)
 $1 \times \square = 32$

式 $1 \times \square = 32$ から $\square = 32 \div 1 = 32$

答え 32人

まとめ
 間の長さ, 全部の長さが分かっているとき, つながっているときの, ならびの人(個)数を求めるには, 全部の長さを 間の長さで わる。